

堺リベラル中学校 学校関係者評価報告書

1. 実施状況

日時 令和4年10月21日(金) 午後3時00分から

場所 愛泉学園 会議室

2. 委員会構成

香ヶ丘リベルテ高等学校校長	1名
挹泉会(同窓会)会長	1名
愛泉学園評議員	3名
愛泉学園監事	2名
堺女子短期大学特任教授	1名
本校関係者	1名

3. 評価・提言

(1) 教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)

グローバル化社会で求められる英語力は、外国人とのコミュニケーションを図れる英語力で開校当初からの外国人講師による授業は非常に重要ですので今後も継続し、表現力と英語力が備わった生徒が一人でも多く育成できるよう継続して先生方の手厚い指導をして頂くことを期待しております。

成績に基づいたグループ分けで対策講座が実現したことは、学力が拮抗している分、充実した内容の授業へと結びつくため学年進行時、生徒のとりこぼしもなくなり、最終的には難関校進学へと繋がるので良い傾向だと思います。

挨拶・礼儀に関しては来客者に通りすがりに挨拶をするのではなく一度足を止めて挨拶する生徒が多数を占めていたので感動を覚えました。気持ちの良い挨拶をしてもらえるので学園にくるのが楽しみとなっています。今後も礼儀指導は継続して頂きたいです。

(2) 学校としての組織的な対応

昨年度からの課題である学校連絡受取確認の徹底ができなかったので来年度は徹底できるよう一層努力して頂きたいです。

中学生を取り巻く環境は年々複雑化してきているので教員と保護者との連携をとることにより安心・安全な学校生活を送れるよう見守ることができる手段となる安全連絡網・リベラルボイスは継続をお願いしたいと同時に一方通行になりがちとありますので改善策を考えて頂きますようお願い致します。

(3) 教員人材育成

教員人材育成のための模擬授業については、指摘する側・される側お互いが成長できる重要なことだと考えますので回数にこだわらず実施内容を工夫しながら継続して頂きたいです。例えば模擬授業を撮影し自身の授業を客観的に見て評価し見直してみるなど、方法はあると思いますので検討して頂きますようお願い致します。

人権研修で携帯電話についての講演・研修会を実施したが根本的な解決策を見いだせないとおるように非常に難しい事案であることは確かです。若者の昨今のトラブルは携帯電話

がらみが多く見受けられるので解決策が見つけれられるよう今後も検討を続けてください。

堺リベラル中学校 学校関係者評価委員会 名簿

重山香苗	香ヶ丘リベルテ高等学校校長
片山千津美	挾泉会（同窓会）会長
玉牧敏子	愛泉学園評議員
奥中登美子	愛泉学園評議員
希代雅彦	愛泉学園監事
隅谷節子	愛泉学園監事
吉田巖	堺女子短期大学特任教授
安田裕樹	香ヶ丘リベルテ高等学校元校長
筒井仁美	愛泉学園総務課長